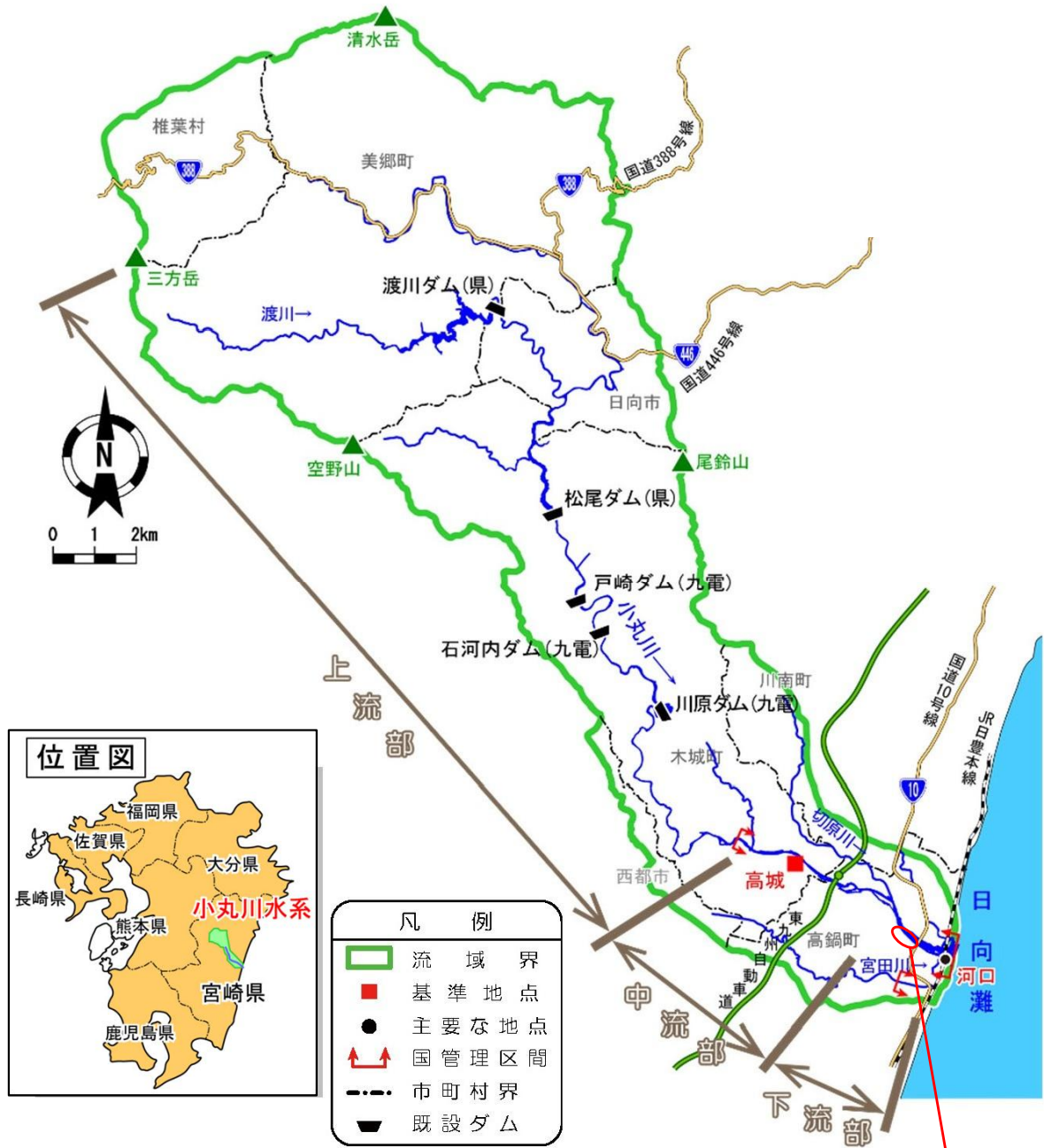


事業名 (箇所名)	小丸川総合水系環境整備事業		担当課	水管理・国土保全局 河川環境課		事業主体	九州地方整備局				
実施箇所	宮崎県高鍋町		担当課長名	島本 和仁		評価年度	令和7年度				
主な事業の諸元	【小丸川下流地区かわまちづくり】 ・管理用通路、高水敷整正、親水護岸、階段工、側帯盛土、坂路拡幅										
事業期間	事業採択	令和8年度	完了	令和16年度							
総事業費 (億円)	約6.7										
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <p>【小丸川下流地区かわまちづくり】 ・高鍋町都市計画マスタープラン(平成11年9月策定)では、小丸川河川敷において、水辺空間と一体となった潤いのあるレクリエーション空間の形成を図ることとしている。 ・第6次高鍋町総合計画 後期基本計画(令和3年6月策定)では、市民の健康づくりのためのまちづくりに取り組むことや環境保全活動を充実させる旨を示しており、第3期高鍋町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和7年3月策定)では、スポーツやイベントの開催を通して交流人口の増加を図る取組を強化することを示している。 ・小丸川の小丸河川敷広場は地域住民のスポーツ活動に多く利用されているが、通路や駐車場が未整備であるため利便性が損なわれている状況である。 ・小丸河川敷広場の近くにある河跡湖は、自然観察や生物観察等の学習の場としてニーズがあるものの、アクセシビリティ、安全性等に課題があり十分利用されていない。 ・高鍋町では、ポートやカヌー・SUP教室、自然観察等の水面利用のニーズがあるが、高鍋大橋上流の河岸は大型ブロックの設置や高水敷の草木繁茂により安全に水際へ近づくことができず、利用がされていない状況である。 ・堤防道路は通勤・通学のほか、ウォーキングやランニングの利用者も多いが、単調な景観が続いているため沿川の景観向上や休憩場所が望まれている。</p> <p><達成すべき目標></p> <p>・高鍋町が掲げる市民の健康づくりのためのまちづくりの推進や、スポーツやイベントを介した交流人口の増加に寄与できるよう、豊かな自然環境や地域の風土・文化を踏まえ、魅力的で活力ある小丸川を目指し、河川空間とまち空間が融合した賑わいのある良好な水辺空間の形成を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <p>・政策目標：良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 ・施策目標：良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、上下水道の持続性の確保と機能強化を推進する</p>										
便益の主な根拠	【小丸川下流地区かわまちづくり】CVMにより算出(令和7年度) 住民：支払意思額：549円/世帯/月、受益世帯数：9,691世帯 観光：支払意思額：913円/人/日、年間観光客数：100,116人										
事業全体の投資効率性	基準年度		令和7年度								
	B:総便益 (億円)	23	C:総費用(億円)	6.5	全体B/C (社会的割引率2%) (社会的割引率1%)	3.6 (5.2) (6.3)	B-C	16.9	EIRR (%)	12.3%	
感度分析	残事業費 (+10% ~ -10%) B/C(3.4 ~ 3.9) 残工期 (+10% ~ -10%) B/C(3.5 ~ 3.7) 資産 (-10% ~ +10%) B/C(3.3 ~ 4.0)										
事業の効果等	【小丸川下流地区かわまちづくり】 ・水辺拠点の創出により、水辺利用が安全かつ快適に実施できるようになるとともに、地域行事やレクリエーションなど多世代が集う賑わいの場が生まれ、地域活性化への効果が期待される。 ・側帯を盛土し桜等を植樹することで、自然に歩きたくなる空間を創出し、高鍋町が進めるスマートウエルネスシティ構想(高鍋町に住んでいるだけで自然に健康になれるまち)への効果が期待される。 ・小丸河川敷広場から河跡湖へのアクセス路を整備することで、スポーツだけでなく環境学習や自然体験もできる賑わいの場が創出されるとともに、河跡湖に残る小丸川本来の貴重な自然環境の次世代への継承が期待される。										
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 予算化は妥当であり、付託意見等はない。 <都道府県の意見・反映内容> 小丸川下流地区は地域活性化への地元の熱意も強く、高鍋町は小丸川の水辺の利活用推進やスポーツ誘致等に取り組んでおり、本事業を実施することにより、さらなる住民の健康づくりのためのまちづくりの推進や、スポーツやイベントを介した交流人口の増加が期待されます。つきましては、令和8年度の新規事業として予算化していただきますようよろしくお願いいたします。なお、計画的かつ効率的な整備に努めていただき、県、地元自治体や住民と連携し、合意形成を図りながら、事業を実施するようお願いいたします。										

小丸川総合水系環境整備事業 事業箇所図



小丸川総合水系環境整備事業